

新潟本社行動計画の取り組み状況について



2019年 9月 5日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

目次

1. 安全性向上の取り組み
2. 運営体制の構築の取り組み
3. 防災支援の取り組み
 - ① 緊急時の初動体制
 - ② 原子力防災への協力 **NEW**
4. 地域貢献の取り組み
 - 地域行事への参加 **update**
5. 傾聴と対話の取り組み
 - ① コミュニケーションブース **update**
 - ② 全戸訪問 **update**
 - ③ 地域の皆さまへの説明会
 - ④ トークサロン **update**
 - ⑤ 発電所視察対応 **update**
 - ⑥ 広告 **update**

1. 安全性向上の取り組み

概要

- 「安全意識」「技術力」「対話力」を向上させるため、原子力安全改革プランを実行
- 新規制基準適合性審査（以下、審査）への真摯な対応
- 福島第一原子力発電所事故の反省を踏まえた安全対策の着実な実施
※個別具体的な取り組み状況について、原子力安全改革プラン進捗報告にて定期的に報告

主な取り組み

<事故を防ぐ>

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえた、自主的な安全対策を実施
- 綿密な断層調査による活動性評価及び保守的な基準地震動の策定
- 厳格な審査を通じた、更なる安全性向上と継続的な改善



<止める（事故対応の技術的能力の向上）>

- 事故対応時に迅速・的確な意志決定が図られるよう、米国などの緊急時対応体制である、ICS（災害時現場指揮システム）の考え方を導入
- 過酷な状況を想定し、さまざまなシナリオによる訓練を継続的に実施し、技術的能力を向上



1. 安全性向上の取り組み

主な取り組み

<冷やす>

- 電源喪失時も原子炉の冷却が可能となるよう、高圧代替注水設備の設置、消防車や大容量送水車の配備等、冷やす機能を多様化、多重化



<放射性物質を閉じ込める・減らす>

- 既存の除熱システムに加えて、圧力容器と格納容器内の除熱が可能な「新除熱システム」を開発し設置
審査では、フィルタベントと同等以上の効果があり、ベントに優先して使用すべき設備として評価され、他のBWRプラントにも設置を義務付け
- 万が一のベントに備え、放射性物質の放出を大幅に低減するフィルタベント装置を設置



1. 安全性向上の取り組み

＜災害対策支援拠点の整備＞

- 原子力発電所の災害対策（事故の収束や拡大防止）を支援するため、必要な資機材を保管・調達し、発電所へ送り出したり、対応要員の往來を管理するための拠点
- 現在、当社では、柏崎エネルギーホール、信濃川電力所、当間高原リゾートの3拠点を整備
- 上記に加え、発電所から北東方向の出雲崎町にも支援拠点を整備し、多重化することで、支援活動の強化を図る（整備完了目標は2020年1月頃を予定）



出典：国土地理院電子国土Webシステム

2. 運営体制の構築の取り組み

概要

- 新潟本社の設置
- 原子力事業の社内カンパニー化を予定
- 新潟県知事の掲げる3つの検証へのご協力

主な取り組み

- 2015年4月、新潟本社設立
 - 県内全域における広聴・広報活動や原子力災害時の避難支援策の検討・実施
- 2018年3月、新潟本社行動計画を策定し、活動拠点として、柏崎市内に「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを開設
- 2019年4月、新潟県のみなさまとのコミュニケーション活動をより強化していくため、柏崎市内のカムフィー2階に地域対応業務の拠点として新たにオフィスを開設
 - 「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを拠点としていた地域対応要員が、同オフィスへ移転。さらに、フリーアドレスを導入し、新潟本部や発電所内の地域活動要員も利用
 - 広聴活動で得られた地域の声を活かし、地元目線の取り組みを充実させていく

〈まもる・そなえる・こたえるオフィス〉



〈カムフィー〉



2. 運営体制の構築の取り組み

<3つの検証へのご協力>

新潟県の皆さまの安全・安心のためにも、新潟県が進めている検証作業は重要なことであると考えており、最大限のご協力をさせていただきます

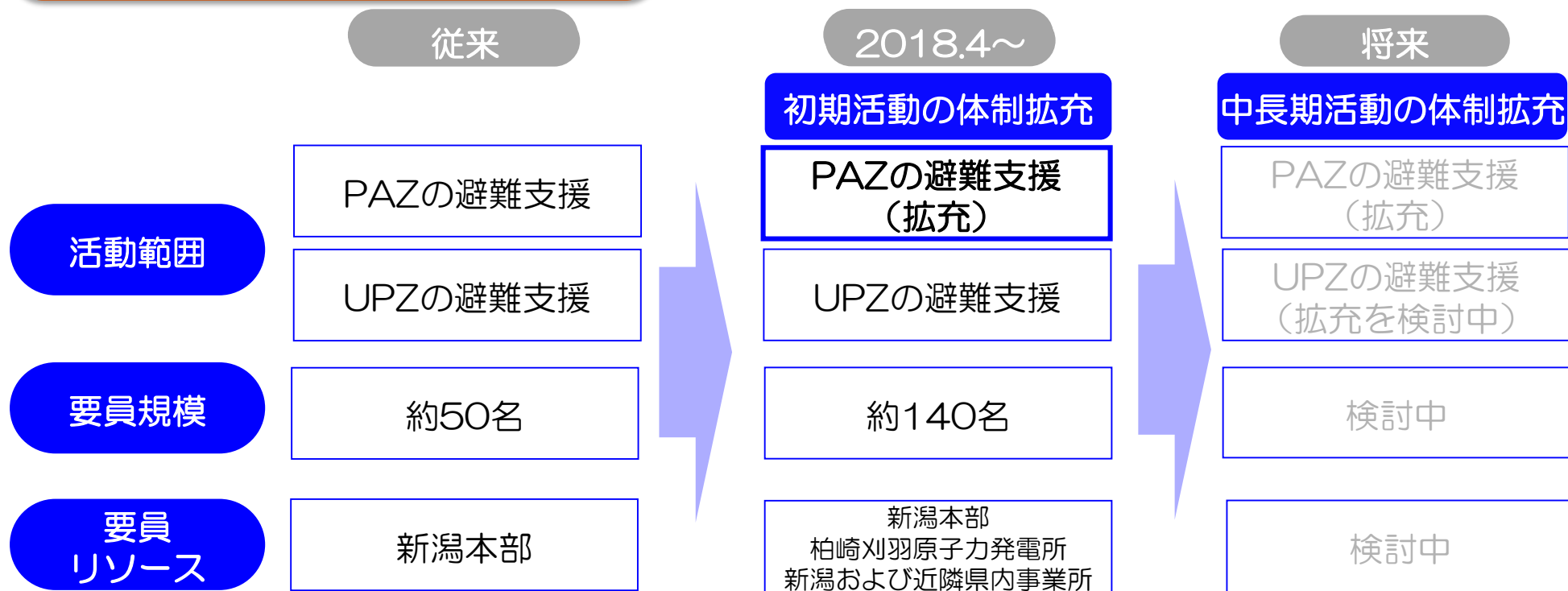
- 新潟県技術委員会へのご説明
 - 発電所視察を含め、これまでに35回実施

- 新潟県避難委員会へのご説明
 - 発電所視察を含め、これまでに4回実施

3. 防災支援の取り組み ① 緊急時の初動体制（1/2）

- 「避難支援チーム」を、2018年4月1日から、新潟本部、柏崎刈羽原子力発電所、新潟県域および近隣県内事業所との協働体制を確立することにより、初動要員を約140名体制へと増員。また、防災や避難支援業務を専門とする社員12名が柏崎市内に常駐
- これにより、概ね5km圏内(PAZ)の避難支援を行う初期活動の体制を拡充
- 更に、概ね30km圏内(UPZ)の避難支援活動の体制の拡充についても検討中

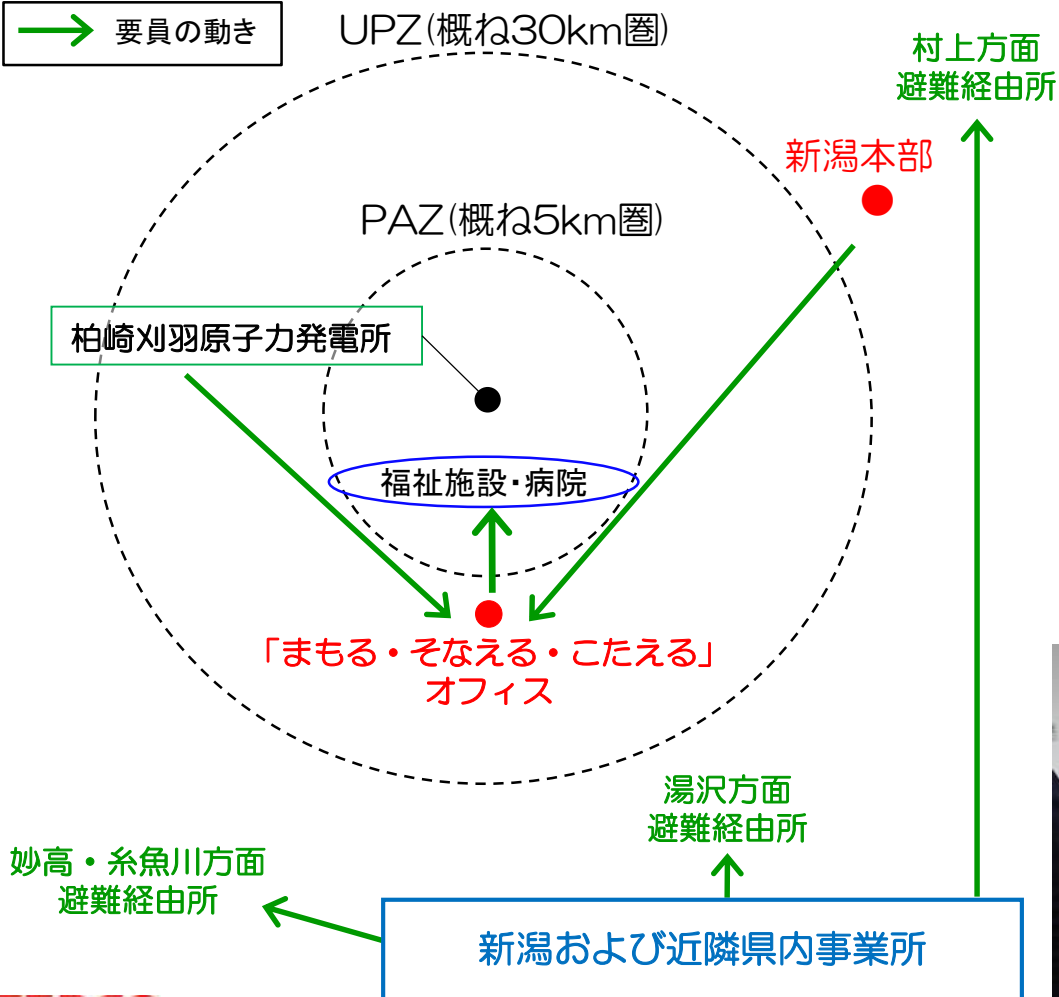
「避難支援チーム」の増強（緊急時）



3. 防災支援の取り組み ① 緊急時の初動体制 (2/2)

緊急時における初期活動(PAZの避難支援)の体制

- 約140名による初期活動の体制に拡充
- 今後、訓練を重ねてクイック&パワーアップを実現



	活動内容	要員 リソース
初期活動	①介護を必要とされる方々の 避難支援 (福祉車両・バス等の運転、移動 介助)	新潟本部、 柏崎刈羽 原子力発電所
	②福祉施設・病院 (屋内退避施設)の運営支援 (介護補助、物資補給)	
	③PAZ避難経由所の運営支援 (開設、案内・介助、車両誘導)	新潟および 近隣県内 事業所

<介護技術講習>



<福祉車両>



3. 防災支援の取り組み ② 原子力防災への協力

- 「第7回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会※（2019年8月27日開催）」における内閣府からの要請に対し、当社は、事業者としてできる最大限の協力をさせていただく

※地域毎の避難計画の策定・充実を支援する取り組みとして、内閣府防災担当が設置している柏崎刈羽地域原子力防災協議会の下部組織

① 避難に必要なバス・福祉車両・要員の確保

- 内閣府から協力要請があった輸送能力（バス・福祉車両・要員）の確保については、今後、作業部会での車両台数等、具体事項の議論を踏まえて、事業者としてできる最大限の協力をさせていただく
- 住民の皆さまの避難を支援する要員については、新潟県内外の当社事業所から要員を派遣できるように体制の整備を開始している。また、これまで介護に関する社内講習、他地域原子力防災訓練に参加することなどに取り組んできており、今後も充実させていく

② 2019年11月「新潟県の原子力防災訓練への協力」

- 県の原子力防災訓練については、「スクリーニング訓練」や「県災害対策本部における訓練」などに参加させていただくことで、協力させていただきたい
- 今後も、県の原子力防災訓練も視野にいたした社内訓練などを繰り返し実施し、適切な避難支援ができるよう準備を進める

<スクリーニング訓練>



<防護服着用訓練>



4. 地域貢献の取り組み 地域行事への参加

<2019/6/6～9/4の実績 ①>

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
NPO法人チャレンジ夢クラブ春季さわやかウォーキング大会（西山）	6/9	会場設営、受付、交通誘導など	2名
段丘さくら草刈り	6/14	津南町に植樹している「段丘さくら」の下草刈り作業	3名
柏崎市えんま市（付き添い）	6/14	特別養護老人ホームに入所されている方の買い物のお手伝い等	2名
柏崎市えんま市（会場早朝清掃）	6/15 6/16	会場清掃	40名
柏崎市荒浜海岸清掃	6/18	海岸清掃	63名
柏崎・夢の森公園「森づくり活動」	6/22	カキツバタの株分け作業	2名
NPO法人湯沢みどりの会 「ブナ育樹作業」	6/23	ブナの成長を妨げる雑木の伐採作業	4名
魚野川河川清掃（魚沼漁協）	7/7	湯沢地域の河川清掃	3名
中津川運動公園環境整備	7/17	中津川運動公園（津南町）の除草	14名

4. 地域貢献の取り組み 地域行事への参加

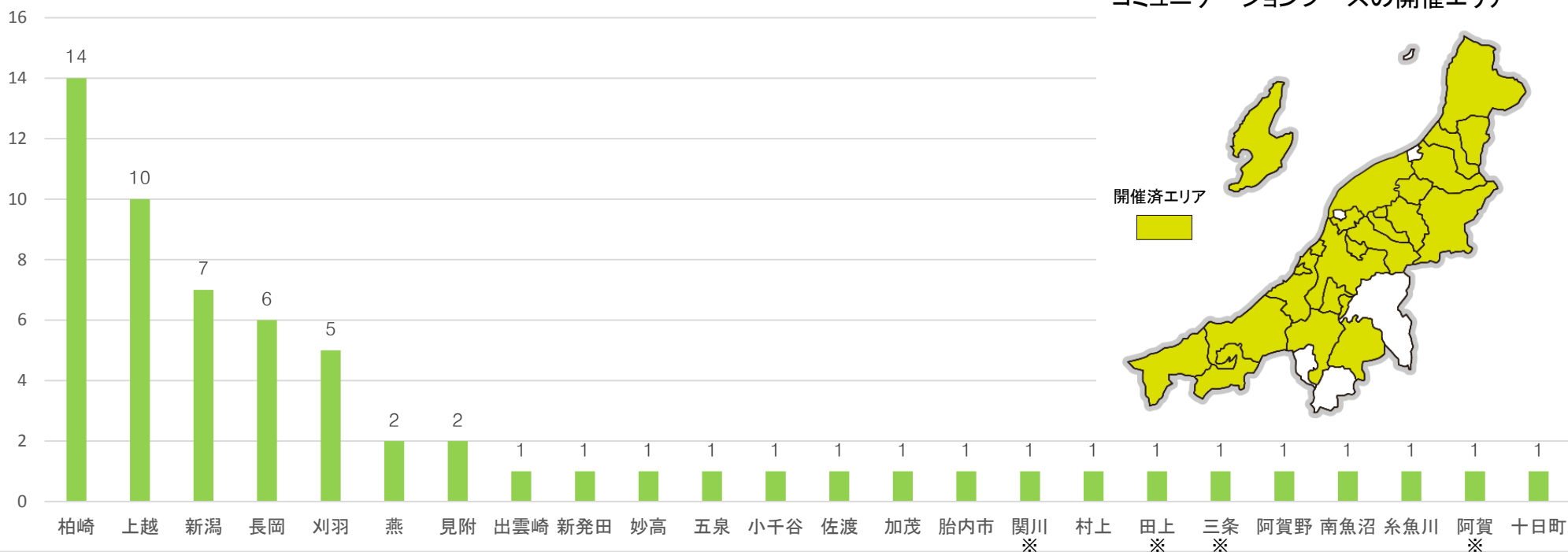
<2019/6/6～9/4の実績 ②>

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
柏崎・夢の森公園「森づくり活動」	7/20	カキツバタエリアの除草	2名
さつき工房ふれあいまつり	7/26	小千谷市障害者支援センターさつき工房でのふれあいまつりの運営手伝い	3名
津南まつり	7/27	交通誘導員補助	5名
ぎおん柏崎まつり海の大花火大会	7/27	海岸清掃活動	23名
長岡まつり大花火大会	8/3	会場周辺清掃	7名
三条夏まつり大花火大会	8/4	会場周辺清掃	7名
ツール・ド・苗場山 栄村100Kmサイクリング	8/4	コース誘導等安全管理	6名
刈羽村ふるさとまつり	8/16	会場清掃	1名

実施内容

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内のみなさまからの疑問やご意見をお聴きするとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の取り組み等をわかりやすくご紹介しております。また、パネル展示等を通じて発電所で講じている安全対策や放射線など原子力発電全般に関する質問にお答えするとともに、さまざまな「声」をお聴きしております。

開催回数(合計59回)



コミュニケーションブースの開催エリア



※2つの市町村を対象として「声」をお聴きしているブースがあるため、開催回数とグラフの合計値は異なります。

(2019年9月5日 現在)

- 東京電力コミュニケーションブースではパネルや模型の展示を通して、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等に対するご質問にお答えしております。また、VR（バーチャルリアリティ）を活用して、臨場感ある映像で発電所にいるような体験もしていただいております。
- これまでに59回開催し、累計12,514人の方にお越しいただき、多くの「声」をお聴きしました。

<前回会見（2019/6/6）以降の実績>

開催エリア	開催場所	開催日	来場者数
長岡市	リップスガーデン 1階休憩スペース	7/27~7/28	311名
胎内市	ケースデンキ胎内店 屋外特設テント	8/9~8/12	213名

<長岡ブース>



<胎内ブース>



◆ 長岡市、胎内市で開催したコミュニケーションブースでいただいた声

声の分類	内容
安全対策	<ul style="list-style-type: none">福島のような事故が二度と起こらないよう、しっかり対策と対応をしてほしい。(40代・女性)
原子力発電全般	<ul style="list-style-type: none">電気は足りているので原子力発電は必要ない。節電すればよい。(70代・女性)再生可能エネルギーは、安定するのにまだ時間がかかる。そのため、原子力はしばらく必要。(70代・男性)現在ある原発は、温暖化対策のためにも安全対策をしっかり行い、再稼働させてもよい。(60代・男性)
発電所視察	<ul style="list-style-type: none">小さな子供が見て楽しいところであれば、発電所見学に行ってみたい。(30代男性)
ブース関連	<ul style="list-style-type: none">VRで発電所の安全対策がよく理解できた。(20代・女性)各地でブースを開催するのは良い取り組みと思う。(60代・男性)近場に来ていただいて良かったです。(40代・女性)
その他ご意見	<ul style="list-style-type: none">ケーブル火災を含め、何件火災を起こしているのか。原発は、安全が重要。(60代・男性)柏崎刈羽原子力発電所の安全対策を知らない人がたくさんいる。立地地域以外でも、情報発信がもっと必要。(30代・男性)

- 新潟本社の社員が柏崎市、刈羽村の皆さまのお住まいを訪問させていただき、ご意見やご要望を傾聴する訪問活動を実施しています。
- 2015年より毎年実施しており、今回で5年連続となります。
- 2019年度は発電所員全員が訪問し、地域の皆さまのお気持ちを直接伺い、一人ひとりが感じとる機会にし、日頃の業務と地域の皆さまの関わりを意識しながら業務に活かしてまいります。
- 昨年同様、一人でも多くの地域の皆さまとお会いし、発電所に対するご不安など、率直なお気持ちを傾聴する全戸訪問活動を展開してまいります。

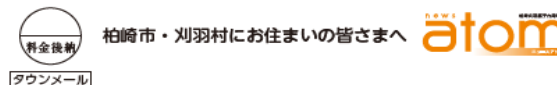
訪問実績

- 第1回目 2015年6月～9月
- 第2回目 2016年5月～9月
- 第3回目 2017年5月～9月
- 第4回目 2018年8月～12月

2019年度訪問スケジュール

- 第5回目
2019年8月28日～11月20日（予定）

<訪問予定地域の周知チラシ>



地域の皆さまへのご訪問について

当社では、一人でも多くの地域の皆さまにお会いし、原子力発電所に関するご意見等を伺いたく、8月から11月の間、柏崎市・刈羽村の各ご家庭を訪問させていただきます。

開始	終了	訪問エリア (町名：五十音順)
8月28日 水	9月4日 水	柏崎市： 駅前、藤町、藤町、西山町（全て）、日石町、東本町
9月5日 木	9月11日 水	柏崎市： 荒浜、藤町、大津、岩谷、宮川、豊町、四谷 刈羽村：村内全ての地区
9月12日 木	9月18日 水	柏崎市： 学校町、上原、栄田、郷、土合、土合新田、長崎、長崎新田、 西本町、西瀬町、東瀬町、東瀬町、松波、山本
9月19日 木	9月25日 水	柏崎市： 春日、幸町、宝町、田中、機場町、藤町、藤元町、北斗町、 福原町、松美、藤田町
9月26日 木	10月2日 水	柏崎市： 安藤町、大久保、北瀬町、栄町、桜木町、新橋、新花町、 中央町、中浜、香神

※天候等により、訪問日が変更になる場合がございます。

※添付もご覧下さい

945-87910

〒950-0110 柏崎市山田1-6番地4.6
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
庶務部 庶務課 庶務係

〒 姓 氏 女

ご住所 〒

お電話番号

いただいた個人情報は、適切に管理いたします。

©2019 東京電力ホールディングス株式会社

5. 傾聴と対話の取り組み ③ 地域の皆さまへの説明会

- 柏崎市と刈羽村において、地域の皆さまからのご意見を伺い、発電所の状況や当社の取り組みをお伝えする貴重な場として「地域の皆さまへの説明会」を実施しております。

開催実績（新潟本社設立以降）

日時	場所	参加者数
2015/6/8	刈羽村生涯学習センター ラピカ	64名
2015/6/9	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/21	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/22	刈羽村農村環境改善センター	44名
2016/9/13	柏崎市市民プラザ	79名
2016/9/14	刈羽村 高町地区集会場	24名
2018/1/30	柏崎市産業文化会館	98名
2018/1/31	刈羽村生涯学習センター ラピカ	52名



- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象として、年間を通してトークサロンやカルチャー教室を実施しております。
- 発電所の取り組みをお伝えするとともに、立地地域の皆さまと新潟本社職員との対話活動を実施しております。

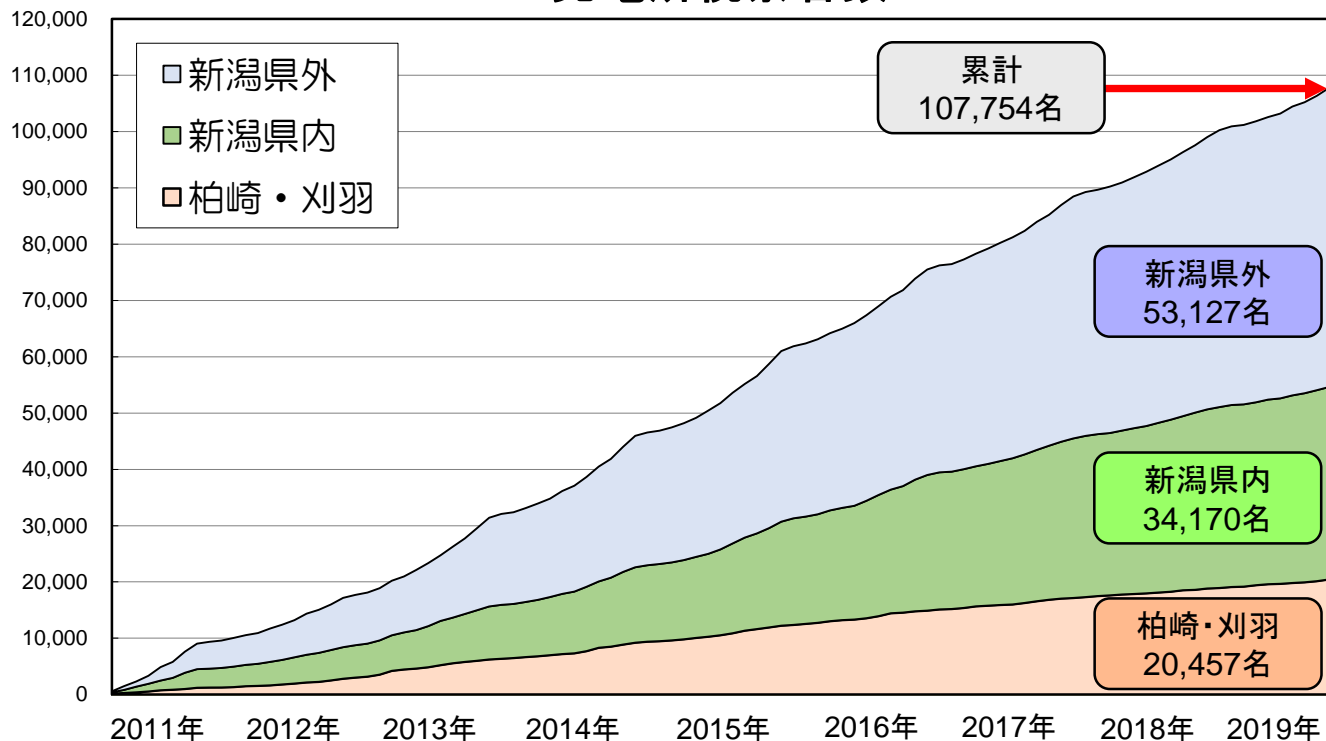
開催実績（2019年度）

時期	場所	主な内容	参加者数
2019.5	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ カルチャー教室	23名
2019.6	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ カルチャー教室	24名
2019.8	・ 柏崎エネルギーホール	・ トークサロン ・ カルチャー教室	42名



- 新潟県内をはじめ、多くの皆さまに、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、取り組みを進めている柏崎刈羽原子力発電所の安全対策などをご視察いただいております。
- 2011年4月以降、これまでに累計10万人を超える方々にお越しいただいております。今後も、ご視察を通じ、安全対策などをご理解いただけるよう、取り組んでまいります。

発電所視察者数



【防潮堤（5～7号機側）】



【貯水池】



■ 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組み等を、新潟県内の一人でも多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広告を実施しております。

- 新潟県内のテレビ各局、ラジオ各局において柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等をお伝えするCMを放送中。
- 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策への取り組み等をご紹介するツールである、VR（バーチャル・リアリティ）コンテンツ「KKVR 柏崎刈羽原子力発電所をVRでのぞいてみよう！」をホームページにて公開中。

<KKVR 柏崎刈羽原子力発電所をVRでのぞいてみよう！>

